

令和8年度 津軽広域クリーンセンター特定悪臭物質測定業務仕様書

令和8年度 津軽広域クリーンセンター特定悪臭物質測定業務に係る必要事項については、次のとおりとする。

1. 業務内容

津軽広域連合(以下「発注者」という。)が指定する採取場所から「特定悪臭物質の測定の方法(昭和47年5月30日環境庁告示第9号)」の規定に基づき、試料の採取、測定及び分析を実施する。なお、関係法令(通達等を含む)が改正された場合は、最新の測定及び分析方法により実施すること。

2. 委託期間

契約締結の翌日から令和8年12月18日まで

3. 採取場所及び回数

採取場所については、敷地境界線付近4地点及び岩木川流域下水道幹線No.3特殊人孔付近1地点の5地点とする。測定項目及び回数は、22項目測定を1回(7月～8月)、6項目測定を1回(10月～11月)、計2回実施する。

4. 測定項目

1) 22項目測定の対象物質

①アンモニア	②メチルメルカプタン	③硫化水素
④硫化メチル	⑤二硫化メチル	⑥トリメチルアミン
⑦アセトアルデヒド	⑧プロピオンアルデヒド	⑨ノルマルブチルアルデヒド
⑩イソブチルアルデヒド	⑪ノルマルバレールアルデヒド	⑫イソバレールアルデヒド
⑬イソブタノール	⑭酢酸エチル	⑮メチルイソブチルケトン
⑯トルエン	⑰スチレン	⑱キシレン
⑲プロピオン酸	⑳ノルマル酪酸	㉑ノルマル吉草酸
㉒イソ吉草酸		

2) 6項目測定の対象物質

①アンモニア	②メチルメルカプタン	③硫化水素
④硫化メチル	⑤二硫化メチル	⑥ノルマル酪酸

5. 報告書の提出

受注者は、各回の測定業務が終了したら速やかに測定結果(濃度計量証明書等)及び業務写真を発注者に提出すること。(各2部)

6. 遵守事項

- 1) 受注者は、関係法令(通達等を含む)を遵守し、業務上で資格等が必要とされる場合は、有資格者に実施させること。
- 2) 受注者は、本業務で知り得た事項を他に漏らしてはならない。また、本業務の完了後も同様とする。
- 3) 事故発生その他の緊急に報告することを要する事項については、発注者へ速やかに報告すること。
- 4) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合、警察及び発注者へ通報しなければならない。また、警察の捜査上で必要な協力をする事。
- 5) 受注者は、発注者が実施する環境配慮に係る取り組みへの協力要請に準じて、可能な限りこれに協力すること。

7. その他

- 1) 業務の実施日程及びその他必要事項については、発注者と協議のうえ決定するものとする。
- 2) 受注者は、自らの負担において、業務を遂行するのに必要な車両、設備、機材等を用意すること。
- 3) 試料の採取は、雨天時を除き実施すること。また、採取中に降雨が確認された場合は、採取の継続について発注者と協議のうえ決定するものとする。
- 4) 場内での作業時は、場内を走行する搬入車両の妨げにならないよう注意すること。
- 5) 試料採取中において、場内や周辺環境での異常(通常と異なる異臭、野焼き等)が確認された場合は、採取を一時中断し、発注者に報告すること。
- 6) この仕様書等に定めのない事項及び業務の実施にあたり疑義の生じた事項については、発注者と受注者が協議して決めるものとする。